



2020年7月15日

各 位

会 社 名 株式会社リビングプラットフォーム
代表者名 代表取締役 金子 洋文
(コード番号：7091 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部部長 伊藤 浩太郎
(TEL. 03-3519-7787)

持株会社体制への移行に伴う分割準備会社（2社）の設立と

会社分割（簡易吸収分割）契約締結に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、会社分割（吸収分割。（以下「本吸収分割」といいます。））の方法により段階的に持株会社体制へ移行するため、分割準備会社として当社100%出資の子会社「株式会社リビングプラットフォームケア」（以下「本吸収分割準備会社A」といいます。）及び「株式会社チャレンジプラットフォーム」（以下「本吸収分割準備会社B」といいます。）を設立すること、並びに、介護事業を本吸収分割準備会社Aに、障がい者支援事業を本吸収分割準備会社Bに承継させるために、当該分割準備会社各社との間で吸収分割契約を締結することを決議しましたので、お知らせ致します。

本吸収分割後の当社は、段階的に持株会社へ移行しますが、引き続き上場を維持する予定です。

本吸収分割は、必要に応じ所轄官庁の許認可等が得られることを条件としております。

なお、本吸収分割は、当社の完全子会社に事業を承継させる簡易吸収分割であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しております。

記

1. 持株会社体制への段階的な移行の背景と目的

当社グループでは、日本における様々な問題の根本的な原因を人口減少と捉え、その解決策としての介護事業、障がい者支援事業、保育事業を三位一体的に進めることにより、当社グループのコーポレートミッションである「持続可能な社会保障制度を構築する」ことを進めてまいりました。その中で、当社グループは、人口動態の急速な変動が進む中、引き続き事業環境の変化をいち早く察知し、柔軟かつスピード感を持った基盤の整備を進める必要があると強く認識するに至りました。

このような状況の中、当社グループの事業領域の拡大と成長を中長期的な観点で捉え、当社グループ全体の経営戦略の立案と実行、柔軟かつ機動的な意思決定と経営資源の最適配分、そして当社グループ内ガバナンス及びコンプライアンス体制の強化を可能にするため、本吸収分割実施による段階的な持株会社体制への移行を行うことが最善であると判断致しました。

2. 本吸収分割の要旨

(1) 本吸収分割の日程

| | |
|----------------------------|----------------|
| 本吸収分割準備会社設立及び本吸収分割契約承認取締役会 | 2020年7月15日 |
| 本吸収分割準備会社の設立 | 2020年7月20日(予定) |
| 吸収分割契約締結 | 2020年7月22日(予定) |
| 吸収分割効力発生日 | 2020年10月1日(予定) |

(注) 本吸収分割は、当社においては会社法第784条第2項の規定に基づく簡易吸収分割の手続きにより、本吸収分割準備会社各社においては会社法第796条第1項の規定に基づく略式吸収分割の手続きにより、いずれも吸収分割契約承認の株主総会の決議を経ずに行う予定です。

(2) 本吸収分割の方式

当社を分割会社とし、当社の100%子会社である分割準備会社(介護事業については本吸収分割準備会社A、障がい者支援事業については本吸収分割準備会社B)をそれぞれ承継会社等とする吸収分割を行います。

(3) 本吸収分割に係る割当ての内容

当社は承継会社等の発行済株式の全部を所有する予定であることから、本吸収分割に際して、承継会社等から当社に対し、承継対象権利義務に代わる金銭等の交付を行う予定はありません。

(4) 本吸収分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社が発行した新株予約権の取扱いについて、本吸収分割による変更はありません。

(5) 本吸収分割により増減する資本金

本吸収分割による当社の資本金の増減はありません。

(6) 承継会社等が承継する権利義務

承継会社等は、本吸収分割に係る吸収分割契約に定める資産、債務、契約その他の権利義務を承継致します。なお、承継会社等が当社から承継する債務については、重疊的債務引受の方法によるものと致します。

(7) 債務履行の見込み

本吸収分割後、承継会社等の資産の額は、負債の額を上回ることが見込まれており、また、承継会社等が負担すべき債務の履行に支障を及ぼすような事態は現在のところ想定されていないことから、本吸収分割後においても、承継会社等の債務の履行の見込みに問題はないと判断しております。なお、承継会社等が当社より承継する債務の全てについては、当社が重疊的債務引受を行います。

3. 本吸収分割の当事会社の概要

| | 分割会社 | | 承継会社 | | | |
|------------------------|-------------------------------|--------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------|--------|
| | 当社 (2020年3月31日現在) | | 本吸収分割準備会社 A (2020年7月20日設立 時点) | 本吸収分割準備会社 B (2020年7月20日設立 時点) | | |
| (1) 名称 | 株式会社リビングプラットフォーム | | 株式会社リビングプラットフォームケア | 株式会社チャレンジプラットフォーム | | |
| (2) 所在地 | 札幌市中央区南二条西二十丁目291番地 | | 札幌市中央区南二条西二十丁目291番地 | 札幌市中央区南二条西二十丁目291番地 | | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 金子 洋文 | | 代表取締役 金子 洋文 | 代表取締役 金子 洋文 | | |
| (4) 事業内容 | 子会社管理、介護事業、障がい者支援事業 | | 介護事業 | 障がい者支援事業 | | |
| (5) 資本金 | 357百万円 | | 10百万円 | 10百万円 | | |
| (6) 設立年月日 | 2011年6月28日 | | 2020年7月20日(予定) | 2020年7月20日(予定) | | |
| (7) 発行済株式数 | 1,533,000株 (内、自己株式37,000株) | | 200株 | 200株 | | |
| (8) 決算期 | 3月末日 | | 3月末日 | 3月末日 | | |
| (9) 大株主及び持株比率 | 株式会社 HCA | 54.27% | 株式会社リビングプラットフォーム | 株式会社リビングプラットフォーム | | |
| | 金子洋文 | 19.91% | | | 100% | 100% |
| | 大和 PI パートナーズ株式会社 | 3.90% | | | | |
| | 楽天証券株式会社 | 1.08% | | | | |
| | 77 ニュービジネス投資事業有限責任組合 | 1.06% | | | | |
| | 有限会社ミロス | 0.93% | | | | |
| | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 0.58% | | | | |
| | 野村證券株式会社 | 0.48% | | | | |
| | バークレイズ証券株式会社 | 0.34% | | | | |
| | 田村 健 | 0.33% | | | | |
| | モルガン・スタンレー | | | | | |
| | MUFG 証券株式会社 | 0.33% | | | | |
| (10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績 | | | | | | |
| 純 資 産 | 1,070 百万円 (連結) | | | | 10 百万円 | 10 百万円 |
| 総 資 産 | 6,884 百万円 (連結) | | 10 百万円 | 10 百万円 | | |
| 1 株 当 たり 純 資 産 | 715.55 円 (連結) | | 50,000 円 | 50,000 円 | | |

| | | | |
|---------------------|----------------|---|---|
| 売上高 | 7,730 百万円 (連結) | — | — |
| 営業利益 | 328 百万円 (連結) | — | — |
| 経常利益 | 234 百万円 (連結) | — | — |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 104 百万円 (連結) | — | — |
| 1 株当たり当期純利益 | 77.73 円 (連結) | — | — |

(注) 承継会社等は、直前事業年度が存在しないため、その設立の日における貸借対照表記載項目のみを表記しております。

4. 分割する事業部門の概要

(1) 分割する部門の事業内容

| 承継会社等 | 分割する部門の事業内容 |
|-------------|-------------|
| 本吸収分割準備会社 A | 介護事業 |
| 本吸収分割準備会社 B | 障がい者支援事業 |

(注) 分割する事業は、各事業所の所轄官庁からの許認可取得を前提としております。

(2) 分割する部門の経営成績 (2020 年 3 月期)

| | 介護事業 (a) | 当社実績 (c) | 比率 (a) ÷ (c) |
|-----|-------------|-------------|-----------------|
| 売上高 | 4,284 百万円 | 4,939 百万円 | 86.7% |

| | 障がい者支援事業 (b) | 当社実績 (c) | 比率 (b) ÷ (c) |
|-----|-----------------|-------------|-----------------|
| 売上高 | 233 百万円 | 4,939 百万円 | 4.7% |

(3) 分割する資産、負債の項目及び帳簿価格 (2020 年 3 月 31 日現在)

① 介護事業

| 資産 | | 負債 | |
|------|---------|------|---------|
| 項目 | 帳簿価額 | 項目 | 帳簿価額 |
| 流動資産 | 118 百万円 | 流動負債 | 230 百万円 |
| 固定資産 | 561 百万円 | 固定負債 | 449 百万円 |
| 合計 | 679 百万円 | 合計 | 679 百万円 |

(注) 上記金額は、2020 年 3 月 31 日現在の貸借対照表を基準として算出しているため、実際に承継される金額は、上記金額に効力発生日までの増減を調整した数値となります。

② 障がい者支援事業

| 資産 | | 負債 | |
|------|--------|------|--------|
| 項目 | 帳簿価額 | 項目 | 帳簿価額 |
| 流動資産 | 24 百万円 | 流動負債 | 22 百万円 |
| 固定資産 | 47 百万円 | 固定負債 | 49 百万円 |
| 合計 | 72 百万円 | 合計 | 72 百万円 |

(注) 上記金額は、2020年3月31日現在の貸借対照表を基準として算出しているため、実際に承継される金額は、上記金額に効力発生日までの増減を調整した数値となります。

5. 本吸収分割後の当社の状況

| | | 分割会社(当社) |
|-----|-----------|------------------------|
| (1) | 名 称 | 株式会社リビングプラットフォーム |
| (2) | 所 在 地 | 札幌市中央区南二条西二十丁目 291 番地 |
| (3) | 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 金子 洋文 |
| (4) | 事 業 内 容 | 子会社の経営管理、介護事業、障がい者支援事業 |
| (5) | 資 本 金 | 357 百万円 |
| (6) | 決 算 期 | 3 月末日 |

6. 承継会社等の状況

| | | 承継会社 (本吸収分割準備会社 A) | 承継会社 (本吸収分割準備会社 B) |
|-----|-----------|-----------------------|-----------------------|
| (1) | 名 称 | 株式会社リビングプラットフォームケア | 株式会社チャレンジプラットフォーム |
| (2) | 所 在 地 | 札幌市中央区南二条西二十丁目 291 番地 | 札幌市中央区南二条西二十丁目 291 番地 |
| (3) | 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 金子 洋文 | 代表取締役 金子 洋文 |
| (4) | 事 業 内 容 | 介護事業 | 障がい者支援事業 |
| (5) | 資 本 金 | 10 百万円 | 10 百万円 |
| (6) | 決 算 期 | 3 月末日 | 3 月末日 |

(注) 名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期の変更はありません。

7. 今後の見通し

承継会社等は、当社の完全子会社であるため、本吸収分割が当社の連結業績に与える影響は軽微であります。なお、2021年3月期の連結業績予想は本日現在、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表致します。